

環境保全

環境パフォーマンス



社会の持続可能な発展のために  
環境課題に取り組むこと、その成果を公表してステークホルダーの  
皆様の信頼を醸成することが、UBEグループの持続的な成長にとって重要と考えています。

UBEグループにおける環境負荷の全体像(2016~2020年度)  
(データ範囲:UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社<sup>(注1)</sup>)

水資源の利用状況

水源別の水資源投入量および排出先別の排出水量は、「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP9に掲載しています。



	2016	2017	2018	2019	2020
総エネルギー投入量(千MWh)	22,070	21,980	21,970	22,140	20,920
総物質投入量(千t)	16,209	16,361	16,383	16,298	15,381
水資源投入量 <sup>(注2)</sup>					
淡水使用量(百万m <sup>3</sup> )	96	94	92	97	94
海水使用量(百万m <sup>3</sup> )	108	115	106	115	108

[https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir\\_library/integrated\\_report/pdf/2021/integrated\\_report\\_environmental\\_safety\\_6.pdf](https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2021/integrated_report_environmental_safety_6.pdf)



		2016	2017	2018	2019	2020
大気排出	GHG(万t-CO <sub>2</sub> e/y)	1,230	1,230	1,201	1,211	1,127
	SOx*1(t)	3,001	2,839	2,873	2,652	2,589
	NOx*2(t)	14,834	14,949	16,149	16,071	15,274
	ばいじん(t)	393	341	356	371	392
	PRTR法*3対象物質(t)	140	162	198	180	190
土壌排出	PRTR法対象物質(t)	0	0	0	0	0
	排出水量(百万m <sup>3</sup> )	156	162	147	163	152
水域排出	COD*4(t)	724	747	642	705	658
	全リン(t)	10	11	9	11	10
	全窒素(t)	500	519	468	466	420
	PRTR法対象物質(t)	122	119	97	112	82
廃棄物排出	外部最終処分量(t)	7,550	6,561	6,730	6,463	6,347
	リサイクル量(t)	421,290	386,661	370,451	389,000	340,543

[https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir\\_library/integrated\\_report/pdf/2021/integrated\\_report\\_environmental\\_safety\\_3.pdf](https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2021/integrated_report_environmental_safety_3.pdf)

行政との協定値や自主管理基準を遵守すべく、工場の安定操業に努めるとともに、大気や水域への汚染・汚濁物質の排出管理を徹底して、継続的な環境負荷低減活動を推進しています。また、UBEの工場群は河川のそばに立地しており、水資源の枯渇リスクは小さいのです

が、水の利用効率改善の観点から各工場において水使用量と排出水量を管理しています。

さらに、環境経営の取り組みとして、地球環境問題への対応、産業廃棄物の削減・有効利用、化学物質の排出抑制など、循環型社会の形成に貢献する事業活動を引き続き進めていきます。

用語解説

- \*1 SOx:燃料に含まれる硫黄に由来する硫酸化合物。ボイラーが主な発生源。
- \*2 NOx:燃料を空気で燃焼させる時に発生する窒素化合物。ボイラー、セメントキルンが主な発生源。
- \*3 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法:事業所から排出・移動した化学物質の量などを把握し、行政に届け出することを義務づけた法律。届け出された情報は環境省のウェブサイト公開される。情報の公開を通して、自主的な化学物質の管理の改善を促進することを目的として制定された。
- \*4 COD:有機物による水質汚濁の指標。有機物を化学的に酸化する時に消費される酸素量。

(注1)データ範囲の詳細は「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP10に掲載。

(注2)水資源投入量は、環境省の「環境報告ガイドライン2018年度版」に準拠しています。これは、外部から事業所内に取得した水量を指します。